



29 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善のために 学びを楽しむ集団作り

👉 こんな実践

よりよい人間関係づくりを目指し、文化祭の合唱発表に向けて①「問題の発見・確認」、②「解決方法等の話し合い」、③「解決方法の決定」、④「決めたことの実践」、⑤「振り返り」といった一連の活動を「実践」と捉え、取り組んだ学級活動の実践です。

実践学校 C中学校

実践学年 2学年

実施時期 9月上旬

題材名 自分たちでつくり上げるクラス合唱

学習指導要領との関連：学級活動（1）ア

○ 事前の準備 ①「問題の発見・確認」

文化祭での合唱発表に向けての練習がスタートした頃、昨年度のクラス合唱を振り返り、今年は昨年度よりも「よいクラス合唱」にしたい、と願う生徒が増えてきたことが、生活ノートの記述等から捉えられました。そこで、学級委員の生徒が中心となって議題を選定し、学級会を開くことにしました。事前に教師は司会の生徒と進行の打ち合わせをし、互いが素直な気持ちで意見を述べたり共有したりできるように配慮しました。



ここがポイント！

- ・議題は教師が与えるのではなく、生徒がよりよい学級や学校の生活づくりに関わる問題を見付け、問題意識の共有化から設定することが大切です。また、発達の段階に応じて進行マニュアルを作成したり、話し合いの観点を決めたりして教師の適切な指導の下、生徒の自発的、自治的な活動が効果的に展開されるようにすることが大切です。



○ 本時の活動・話し合い活動 ②「解決方法等の話し合い」

【議題】『全力100%～去年の自分達を越える～』を実現するための具体策を決めよう！

【提案理由】クラス目標を実現するためには、去年とは違った取組が必要。残りの14日間のできることを考えたい。みんなであればできる。

提案理由を理解した生徒は、「態度や姿勢」、「練習方法」、「表現方法」の3つの話合いの観点に沿って話合いを始めました。C中学校では、合意形成までには段階的な話合いが有効であると考え、小グループで話し合った後、全体で話し合いました。小グループでの意見をホワイトボードにまとめ、全体での話合いの場面では、黒板に貼ったそのホワイトボードを動かしながら、質問や意見を交換する姿が見られました。



ここがポイント!

- ・ホワイトボードや短冊を活用して、思考の可視化・操作化・構造化で、考えをつないだり深めたりしていくことが大切です。



○ 本時の活動・話合い活動 ③「解決方法の決定」

3つの話合いの観点に沿った話合い後、折り合いをつけながら合意形成する生徒の姿がありました。A生は、授業の振り返りで下記のように記述しました。



今日決めたことをみんなと協力しながらやっていきたい。また、今後もっと意見を出し合いクラス合唱をよりよいものにしていきたい。

○ 事後の活動 ④「決めたことの実践」 ⑤「振り返り」

学級会で決まったことを大切にしながら、練習を積み重ねたこのクラスは、文化祭当日、1年前より成長した歌声を体育館に響かせました。

まとめ

- ・特別活動における主体的・対話的で深い学びを実現するためには、①から⑤の学習過程（実践）において、授業や指導の工夫改善を行いながら、一連の活動の中での質の高い学びを実現することです。このクラスでは、このような話合い活動を中核とした実践を積み重ねることで、学校における生活の向上に努め、多様な他者と関わり合ってよりよく生きようとする資質・能力を育てていきます。